

ティッシュペーパーの取り付けかた → P.12、13

ティッシュペーパーを使うと、ごみ捨てがさらに簡単・清潔になりますのでおすすめします。

1 ティッシュペーパーの端が、立体フィルターの端から1cm程度はみ出すようにのせる



2 立体フィルターの端をティッシュペーパーと一緒につまんで、ごみすてボタンのつめに引っ掛ける

●ティッシュペーパーを折り返して端をつまむ



3 ティッシュペーパーの端をダストケースの端に合わせる



4 ティッシュペーパーの端に手を添えたまま、立体フィルターの中へ軽く押し込む

2 軽く押し込む

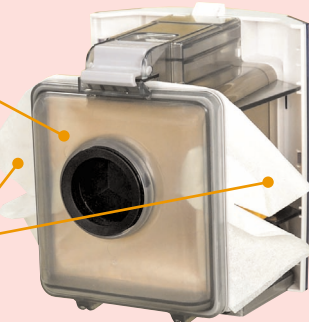
1 手を添えたまま



5 ダストケースフタを閉める

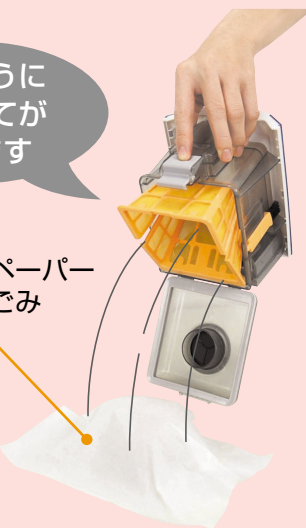
ダストケースフタ

●ティッシュペーパーがダストケースからはみ出しても問題ありません。



このようにごみ捨てができます

●ティッシュペーパーに包まれたごみ



お願い ●ティッシュペーパーは、市販されている2枚重ねのものをご使用ください。
●ぬれたティッシュペーパーは使用しないでください。

故障かなと思ったら

修理を依頼される前に、「取扱説明書の」 → P.16、17 をもう一度ご確認ください。

日立電気掃除機 スティックタイプ「ごみダッシュサイクロン」

カンタンお手入れガイド

詳しくは「取扱説明書」をご覧ください。
→ P.00 このマークは「取扱説明書」の記載ページです。

ダストケースの取り外しかた → P.12

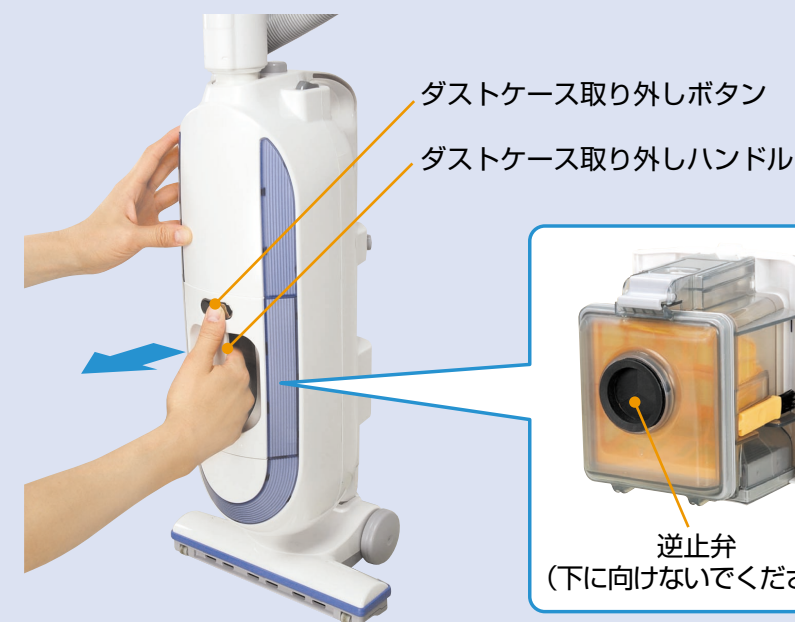
サイクロン方式のクリーナーは、「紙パックがいらぬ」という特長を持っていますが、強い吸込力でお掃除していただくためには、ダストケースのお手入れが必要です。

本体の上側を手で押さえて、ダストケースをまっすぐ前に引き出す

1 本体の上側を手で押さえて

2 ダストケース取り外しハンドルをにぎり、

3 ダストケース取り外しボタンを押しながらまっすぐ前に引き出す



※写真はスティックタイプ「ごみダッシュサイクロン」クリーナーの代表機種でご説明しています。

お願い ●ダストケースを取り外すときは、「逆止弁」を下に向けないでください。ごみがこぼれる場合があります。

ダストケースの構成

ごみすてボタン

立体フィルター (メッシュフィルター)

ダストケースフタ

ダストケースグリップ

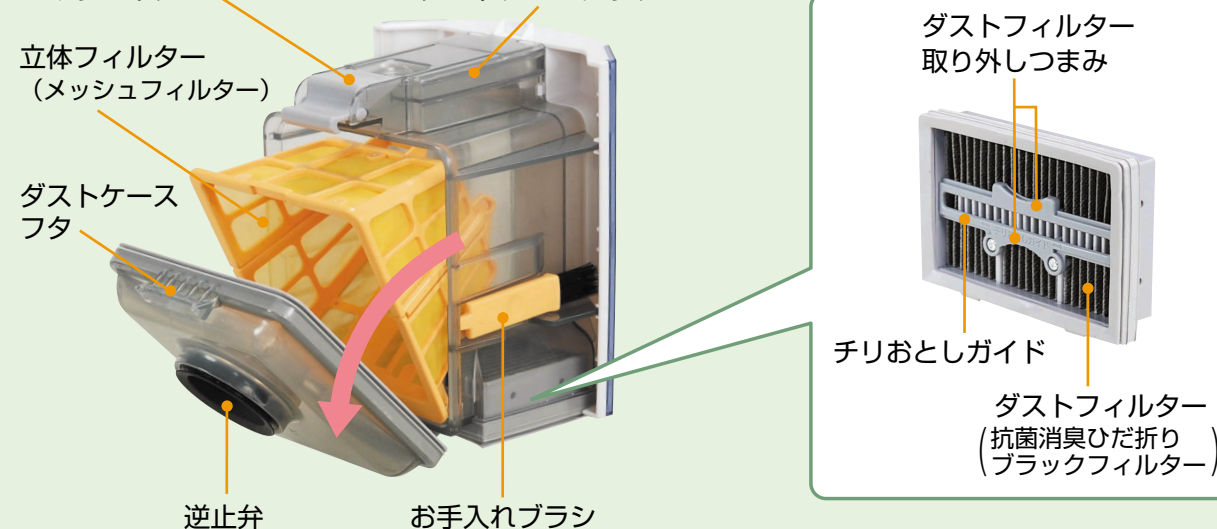
ダストフィルター取り外しつまみ

チリおとしガイド

ダストフィルター (抗菌消臭ひだ折りブラックフィルター)

逆止弁

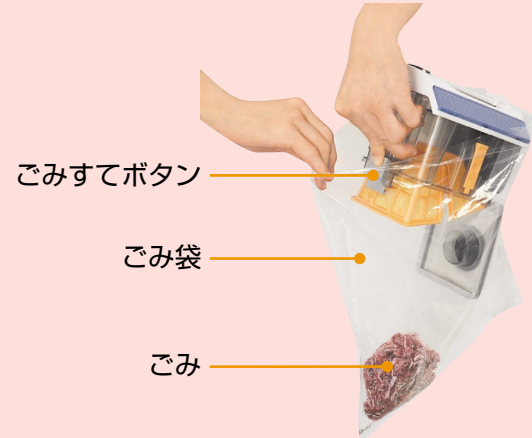
お手入れブラシ



立体フィルターのごみの捨てかた → P.12

お掃除が終わったら、「立体フィルター」のごみを捨ててください。

- 1** ダストケースを大きめのごみ袋などの中に入れ、ごみすてボタンを押す



- 2** 付属のお手入れブラシで、立体フィルターに付着したごみを取り除く



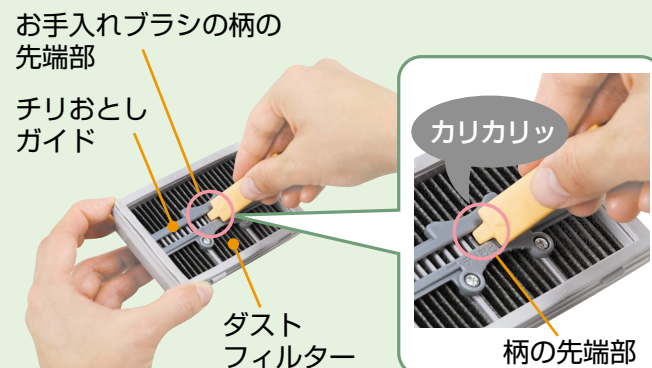
ダストフィルターのごみの捨てかた → P.13

1か月に2回程度、「ダストフィルター」のごみを捨ててください。

- 1** ダストフィルターのダストフィルター取り外しつまみをつかみ、ダストフィルターをダストケースからまっすぐに引き出す



- 2** ごみ箱の上などで、お手入れブラシの柄の先端部をチリおとしガイドに沿わせて、ダストフィルターのひだの先端に強く当てながら左右に5往復程度動かしチリを落とす



- 3** 付属のお手入れブラシで、ダストフィルターに付着したごみを取り除く



水洗いのしかた(ダストケースは丸洗いできます。) → P.14

ダストフィルターのごみを捨てても「吸込力が回復しない」、「ごみすてサインが作動する」ときは、各フィルターを水洗いしてください。

■立体フィルター(表面、裏面)

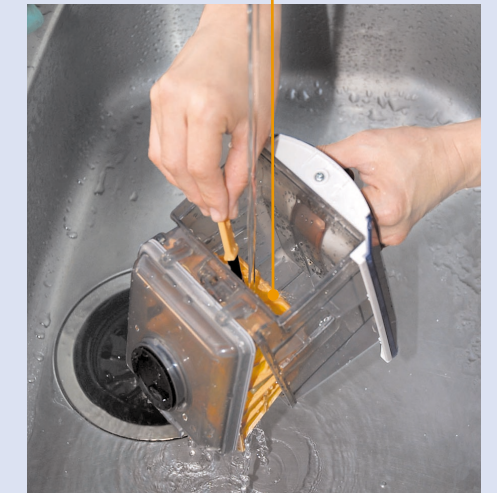
- ダストケースフタを開けて、表側を水洗いしてください。

立体フィルター(表面)



- ダストフィルターを取り外して、裏側も水洗いしてください。

立体フィルター(裏面)



■ダストフィルター

- ひだを広げて奥にたまったごみを水で流してください。

ダストフィルター



お願い

- 付着しているごみやほこりは、軽く落としてから水洗いしてください。
- 付属の「お手入れブラシ」以外のブラシは使用しないでください。
- 水洗い後は、必ず自然乾燥させてから本体に取り付けてください。
(乾燥には約12時間必要です。)